

さいたま市長メッセージ（令和4年2月25日）

さいたま市長の清水勇人です。

本市では、2月24日までの1週間で、7,050人の新規陽性者が確認されました。依然として多くの新規陽性者が発生しており、中でも10代以下では、増加傾向が続いています。

現在、本市は、感染予防効果を高めるとされる、新型コロナウイルスの3回目接種に全力で取り組んでいます。

加えて、5歳から11歳へのワクチンの接種を、3月から開始します。

小児用ワクチンの供給量が限られていることから、まずは、基礎疾患等をお持ちのお子さんとそのご兄弟や姉妹の接種を優先します。次に、3月9日から11歳のお子さんの予約を開始し、その他のお子さんは、4月上旬から予約が開始できるよう、準備を進めています。

厚生労働省によれば、国内の小児の感染例では、中等症や重症例の割合は少ないものの、新規陽性者が増加する中で、重症に至る症例数が増加傾向にあるとされています。

また、基礎疾患がある小児では、感染により重症化するリスクが高くなると言われており、ワクチン接種により、これらのリスクを低下できることが確認されています。

一方で、多くの方が心配されている副反応については、12歳以上の皆様と同様に倦怠感や頭痛、発熱など、様々な症状が確認されていますが、現時点では、安全性に重大な懸念は認められていないと判断されています。

ほごしゃ みなさま こうてききかん ていきょう じょうほうとう さんこう こさま
保護者の皆様には、公的機関が提供する情報等を参考にして、お子様の
けんこうじょうたい どうきょ かぞく じょうきょう こうりょ こさま
健康状態や、同居するご家族の状況などを考慮し、お子様とともにワクチ
ンの接種をご検討いただくようお願いいたします。